

# 一・二級小型船舶操縦士学科試験

## 一般科目 (問1～問50)

|    |  |
|----|--|
| 問題 |  |
|----|--|

|      |  |
|------|--|
| 受験番号 |  |
|------|--|

### 【注意事項】

1. 各問題の解答は、必ず別紙解答用紙に記入すること。
2. 各問題の解答は、4つの選択肢のうちから1つだけ選ぶこと。
3. 以下のものを使用しないこと。

携帯電話、計算機、方位・潮汐機能を有する時計及びこれらに類するもの。

### 【二級受験者の受験科目及び試験時間】

| 受有している免許        | 受験科目                  | 試験時間   |
|-----------------|-----------------------|--------|
| 無し              | 一般科目<br>(問1～問50)      | 1時間10分 |
| 二級(1海里限定)<br>特殊 | 交通の方法・運航<br>(問13～問50) | 55分    |

※ 海技士資格受有者の受験科目と試験時間は別に定める。

※ 配点及び合格基準は、リーフレット(一・二級小型船舶操縦士試験について)を参照のこと。

一級受験者の受験科目及び試験時間は、上級科目の表紙に記載しています。

## 【小型船舶操縦者の心得及び遵守事項】

問1 小型船舶で航行する場合の注意事項として適切なものは、次のうちどれか。

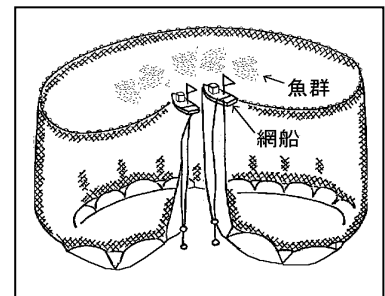
- (1) 海上での信号や標識は、小型船舶の航行には関係がない。
- (2) 自分さえ安全ならば、速力を上げて航行してもよい。
- (3) 沿岸付近を航行するときには、陸上との連絡手段を持つ必要はない。
- (4) 太陽光の水面反射によって、水面の状況が分かりにくいことがある。

問2 大型船の一般的な特性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) ブリッジ(船橋)からは周りをよく見渡せるので、近くにいる小型船舶の動きがよく分かる。
- (2) 舵効きが悪いため、舵を取ってから実際に針路が変わるまでに時間がかかる。
- (3) 緊急にエンジンを停止しても、すぐには停船することができない。
- (4) 狭い水道などでは、自船の針路を保つことに精一杯で、他の船舶を避けることが難しい。

問3 下図に示す「まき網漁業」に対する注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 魚群を囲い込むために、網船が急に針路を変えることがあるので注意しなければならない。
- (2) 水面付近のまき網は、離れた位置からは見えにくいので、近寄って確認しなければならない。
- (3) 複数の船舶で操業する機会が多いので、一隻だけではなくまわりの船の動きにも注意しなければならない。
- (4) 漁船が動いていなくても、網を揚げている場合があるので、まわりで引き波を立てないようにしなければならない。



問4 プレジャーボートの海難事故の多くは「人為的要因」により発生しているが、その要因に該当しないものは、次のうちどれか。

- (1) 操船不適切
- (2) 見張り不十分
- (3) 材質構造不良
- (4) 機関取扱不良

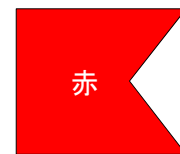
問5 小型船舶の船長の役割や責任について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 小型船舶の船長には、大型船の船長と同じように社会的な責任と義務がある。
- (2) 船の最高責任者なので、リーダーシップを発揮して何ごとにも的確な判断をする。
- (3) 水域ごとのルールや遵守事項を守り、他の利用者と譲り合って水域を利用する。
- (4) 同乗者が操縦中に起こした事故については、どんな場合でも船長に法的責任はない。

問6 右図の国際信号旗を掲げている信号の意味は、次のうちどれか。

ただし、赤は信号旗の色を表す。

- (1) 人が、海中に落ちた。
- (2) 私は、危険物を荷役中または運送中である。
- (3) あなたは、すぐ停船されたい。
- (4) 私は、潜水夫を降ろしている、微速で十分避けよ。



問7 小型船舶の船長が航海計画を立てる場合の心得として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) その船が出せる最高速度をもとにして計画を立てる。
- (2) 暗礁の多い水域から十分に離れたコースを設定する。
- (3) 天候が悪くなったときのための避難港を選んでおく。
- (4) できるだけ夜間の航海をしないように計画を立てる。

問8 プレジャーボートの保険について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

- (1) プレジャーボートの保険はすべて任意保険であり、強制保険はない。
- (2) 船外機を使用して航行するボートは、保険に加入することができない。
- (3) 水上オートバイは、保険に加入することができない。
- (4) プレジャーボートの保険では、搭乗者に対する補償は受けられない。

問9 小型船舶の船長の遵守事項として誤っているものは、次のうちどれか。

(船舶職員及び小型船舶操縦者法)

- (1) 飲酒により正常な操縦ができないおそれのある者に、操縦させてはならない。
- (2) 水上オートバイに乗船して航行する場合は、ライフジャケットを着用しなければならない。
- (3) 港則法に基づく港の区域を航行するときは、有資格者が操縦しなければならない。
- (4) 自分が安全だと判断すれば、遊泳者のすぐそばで急回転してもかまわない。

問10 特殊小型船舶操縦士の免許は満何歳から取得できるか。次のうちから選べ。

(船舶職員及び小型船舶操縦者法)

- (1) 15 歳
- (2) 16 歳
- (3) 18 歳
- (4) 20 歳

問11 登録を受けていない小型船舶を航行させるときに行う登録は、次のうちどれか。

(小型船舶の登録等に関する法律)

- (1) 新規登録
- (2) 移転登録
- (3) 変更登録
- (4) 抹消登録

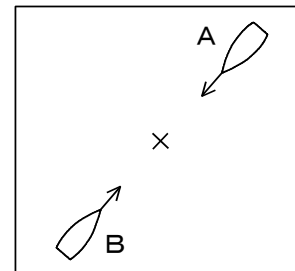
問12 海に捨てられたゴミなどによる影響について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 釣り糸の切れはしがプロペラシャフトにからまり、推進器の故障につながる場合がある。
- (2) ビニール袋が冷却水の取入口をふさぎ、エンジンがオーバーヒートを起こす場合がある。
- (3) 海底に沈んだ大量のまき餌は、海洋生物の生活環境にいい影響を与える場合がある。
- (4) 不法に捨てられたゴミや油により、漁網や漁具が被害を受ける場合がある。

### 【交通の方法】

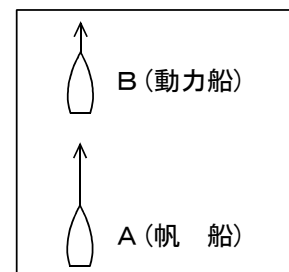
問13 右図に示すように、航行中の2隻の動力船が真向かいに行き会い、×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

- (1) A、Bともに、針路を左に転じる。
- (2) A、Bともに、針路を右に転じる。
- (3) AはBの進路を避け、Bは針路、速力を保つ。
- (4) BはAの進路を避け、Aは針路、速力を保つ。



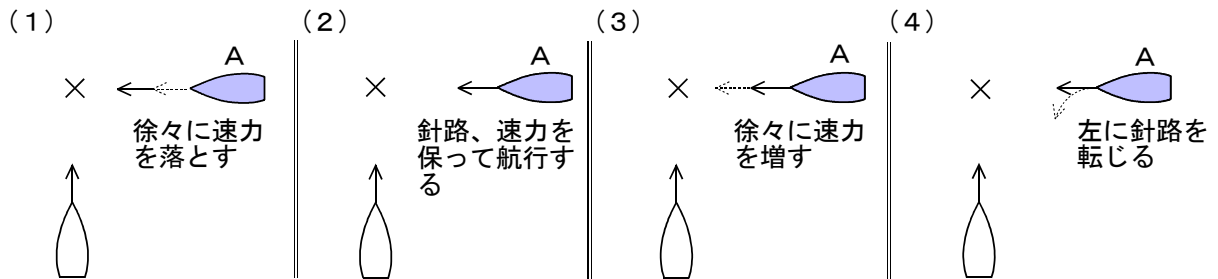
問14 右図に示すように、航行中のA船がB船を追い越そうとする場合の航法として正しいものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

- (1) Aは帆を縮めて航行しなければならない。
- (2) Bは機関を止めて停船しなければならない。
- (3) Aは早めに速力を落として航行しなければならない。
- (4) Bは針路、速力を保ち、十分に注意して航行しなければならない。



問15 下図は、航行中の2隻の動力船が互いに進路を横切り×印の付近で衝突するおそれがあるときのA船の動作の具体例を示したものである。横切り船の航法として正しいものはどれか。

(海上衝突予防法)



問16 避航船及び保持船の航法について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

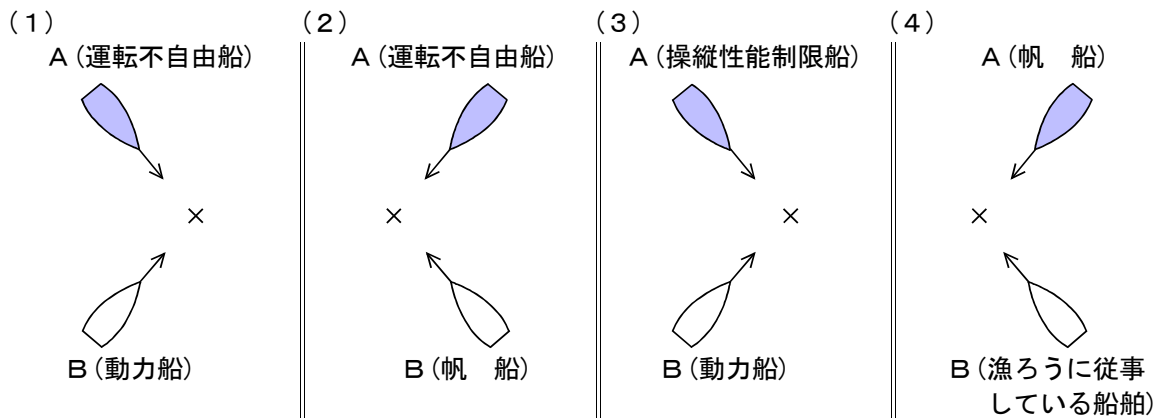
(海上衝突予防法)

- (A) 避航船は、他の船舶との衝突を避けるための針路又は速力の変更を行う場合は、できる限り小刻みに、ゆっくりと行わなければならない。  
 (B) 保持船は、避航船が衝突を避けるために十分な動作をとっていることについて疑いがあるときは、直ちに警告信号を行わなければならない。

- (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問17 下図は、航行中のA船とB船が×印の付近で衝突するおそれがあるときの状況を示したものである。A船が避航船となるのは、次のどの場合か。

(海上衝突予防法)



問18 海上衝突予防法に定める安全な速力とはどのような速力をいうか。次のうちから正しいものを選び。

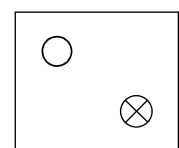
- (1) 他船に危険を及ぼさない速力 (2) 状況に適した距離で停止できる速力  
 (3) 12ノット以下の速力 (4) 最大速力の約半分の速力

問19 狭い水道等において、追越し船は、追い越される船舶の協力がなければ安全に追い越すことができない場合、どのような処置をとらなければならないか。次のうちから選べ。

(海上衝突予防法)

- (1) 追越しの意図を示す汽笛信号を行う。 (2) 急速に閃光5回を発生して、注意を呼びかける。  
 (3) 十分に近づいて、他船の航行を見守る。 (4) 速力を上げて、水道等の左側端に寄る。

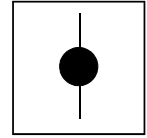
問20 夜間航行中のA船は、前方に右図に示すような灯火を表示しているB船を認めた。この場合、A船から見てB船は、どのように航行していると判断したらよいか。次のうちから選べ。ただし、○は白灯、⊗は緑灯とする。



- (1) 左舷側を見せて右から左へ航行している。 (海上衝突予防法)  
 (2) 右舷側を見せて左から右へ航行している。  
 (3) 正面を見せてこちらに向かって航行している。  
 (4) 船尾を見せて航行している。

問21 昼間、右図の形象物1個を表示しているのはどのような船舶か。次のうちから  
 選べ。 (海上衝突予防法)

- (1) 錨泊中の船舶 (2) 操縦性能制限船  
 (3) 運転不自由船 (4) 漁ろうに従事している船舶



問22 汽笛信号とそれを行う状況の組合せとして正しいものは、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)

- (1) 短音1回 …… 他船を避けるため、針路を左に転じている。  
 (2) 短音2回 …… 他船に針路を保つよう依頼している。  
 (3) 短音3回 …… 他船を避けるため、針路を右に転じている。  
 (4) 急速に短音5回以上 …… 他船の衝突を避ける動作に疑いを持っている。

問23 港内における航法について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。 (港則法)

- (1) 防波堤の突端を左舷に見て航行するとき、できるだけこれから遠ざかって航行しなければならない。  
 (2) 汽船が防波堤の入口付近で他の汽船と出会うおそれがあるときは、出航する汽船が入航する汽船の進路を避けなければならない。  
 (3) 航路を航行する船舶は、航路外から航路に入ろうとする船舶の進路を避けなければならない。  
 (4) 航路内で他の船舶と行き会うときは、左側を航行しなければならない。

問24 夜間、港内を航行中の長さ7メートル未満の帆船及びろかいを用いている船舶は、海上衝突予防法に規定された灯火を表示している場合を除き、何色の灯火1個を常時表示しなければならないか。次のうちから選べ。 (港則法)

- (1) 白色 (2) 黄色 (3) 紅色 (4) 緑色

問25 海上交通安全法の航法について述べた次の文の( )の中に当てはまる正しい語句は、下のうちどれか。

「海上交通安全法で定める航路を航行しなければならない船舶は、( )以上の船舶である。」

- (1) 定員5名 (2) 長さ50メートル (3) 総トン数50トン (4) 幅5メートル

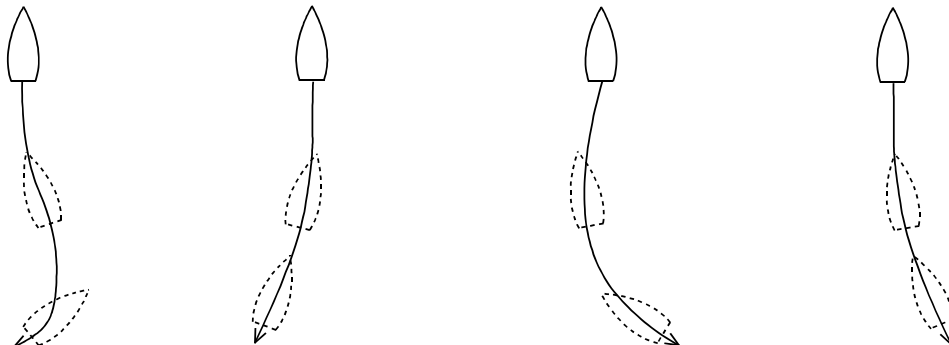
問26 河川や湖沼における船舶の交通ルールについて述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 条例により、船舶の通航を制限している水域がある。  
 (2) 河川法に基づき、船舶の通航方法を定めている水域がある。  
 (3) 河川の河口付近では、海上交通安全法の航法が適用される水域がある。  
 (4) 条例により、航行する船舶の騒音を規制している水域がある。

### 【運航】

問27 穏やかな水面に停止している排水型の一軸右回り船が、舵を右にいっぱいにとってエンジンを後進にかけた場合、一般にどのような運動をするか。次のうちから最も適切なものを選び。ただし、風や潮流の影響はないものとする。

- (1) (2) (3) (4)



問28 小型船舶が穏やかな水域びょうはくで錨泊する場合、水中に伸ばすアンカーロープの長さとして最も適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 水深の約1倍 (2) 水深の約1.5倍 (3) 水深の約3倍 (4) 水深の約6倍

問29 船体の安定について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 人や物を高い所に積むと、船の重心が高くなる。  
 (2) 人や物を低い所に積むと、船はボトムヘビーの状態になる。  
 (3) ボトムヘビーの状態で航行すると、船が傾いたとき、元の状態に戻りにくくなる。  
 (4) 人や物は船の前後左右に均等に積むほうが、船体の安定がよくなる。

問30 河口付近を航行する場合の注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 潮汐の影響を受ける場所もあるので、河口付近の潮汐を調べておく。  
 (2) 大きな川であれば、大雨が降った後でも流速や流量は変化しない。  
 (3) 河口付近では、三角波や磯波いそなみといった危険な波が立ちやすい。  
 (4) 河川から海へ出るときは、波が巻いている所を避けて通るようにする。

問31 他の船舶を曳航する場合の注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 曳航中に波浪が高くなってきたら、曳航ロープを短くする。  
 (2) 曳航ロープは、両船の船首尾線上を通るように結ぶ。  
 (3) 曳航を始めるときは、できるだけ低速で行うようにする。  
 (4) 曳航ロープは、十分な強度のあるクリートに結ぶようにする。

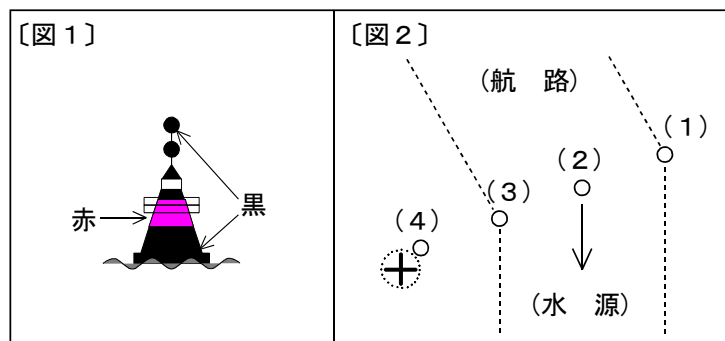
問32 コンパスカードの読み方として、360度式てんかくしきと点画式の正しい組合せは、次のうちどれか。

- (1) 045度 …… SE (2) 135度 …… NW  
 (3) 225度 …… SW (4) 315度 …… NE

問33 12ノットとは、1時間に何キロメートル(km)航走する速力をいうか。次のうちから選べ。

- (1) 約9km (2) 約11km (3) 約19km (4) 約22km

問34 [図1]に示す標識は、  
 [図2]のどの地点に設置されているか。(1)~(4)のうちから選べ。ただし、赤、黒は標体の塗色を表す。



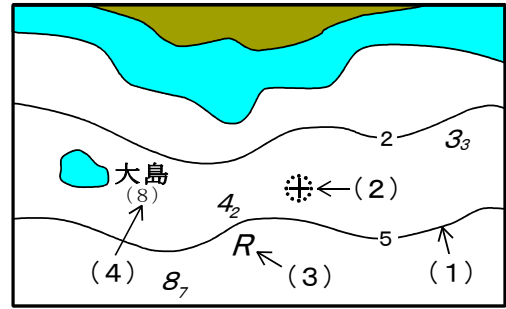
問35 次の灯略記のうち、「不動光」を表すものはどれか。

- (1) F (2) Fl (3) Oc (4) Al

問36 海図に記載されている海岸線は、どの水面における海と陸との境界を示したもののか。次のうちから選べ。

- (1) 最低水面 (2) 平均水面 (3) 中間水面 (4) 最高水面

問37 右図は、海図の一部を示した略図である。図中(1)～(4)の海図図式の説明として誤っているものは、次のうちどれか。



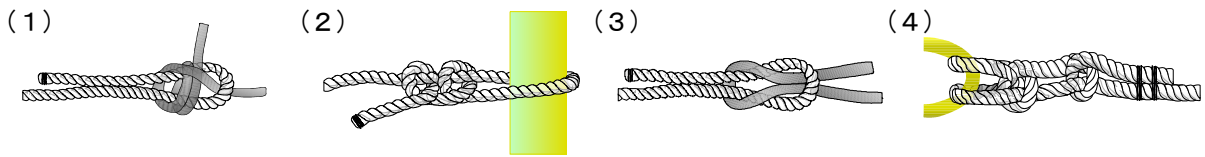
- (1) 水深5メートルの等深線を表す。
- (2) 沈船を表す。
- (3) 底質が「岩」であることを表す。
- (4) 大島の高さが8メートルであることを表す。

問38 次の文に当てはまる船体の構成材は、下のうちどれか。

「ハルとデッキの接合部分、又は舷側の最上部で、係留時や接岸時の損傷を軽減するために、ゴムなどを張り巡らしているものがある。」

- (1) キール
- (2) フレーム
- (3) トランサム
- (4) ガンネル

問39 いかり結び(フィッシャーマンズベンド)は、次のうちどれか。



問40 出航前に点検した次の事項のうち、このまま出航するには適切でないものはどれか。

- (1) ボトムプラグが開けてある。
- (2) 重い荷物が低い位置に積んである。
- (3) ハッチが閉じてある。
- (4) 船体に亀裂や傷がない。

問41 燃料系統の発航前点検について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 燃料タンクに航海で消費する量の燃料が丁度入っていることを確認する。
- (2) 燃料パイプや燃料ポンプなどに燃料漏れがないことを確認する。
- (3) 燃料コックが開いていることを確認する。
- (4) 燃料フィルターにゴミや水分が入り込んでいないことを確認する。

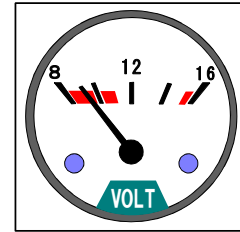
問42 4ストロークガソリンエンジンにおいて、燃料油が燃料タンクからシリンダーに入るまでの経路として正しいものは、次のうちどれか。

- (1) 燃料フィルター → 燃料ポンプ → キャブレター → 吸気マニホールド
- (2) 燃料ポンプ → 燃料フィルター → 吸気マニホールド → キャブレター
- (3) キャブレター → 燃料ポンプ → 燃料フィルター → 吸気マニホールド
- (4) 吸気マニホールド → 燃料フィルター → 燃料ポンプ → キャブレター

問43 ガソリンエンジンの始動及び運転操作について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

- (A) スターターモーターは回転するのにエンジンが始動しない場合は、スタータースイッチを「ON」の位置に戻してから、リモコンレバーをフルスロットルにすると始動する。
  - (B) リモコンレバーによるクラッチのシフト操作はできるだけゆっくり行い、増減速の操作はできるだけ素早く行う。
- (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問44 ガソリンエンジンを運転中、電圧計が右図のような値を示した<sup>あた</sup>場合の原因として適切なものは、次のうちどれか。



- (1) 点火コイルの故障
- (2) オルタネーターの故障
- (3) スターターモーターの故障
- (4) ディストリビューターの故障

問45 船外機の日常点検において、専門知識を持つ整備士に任せたい箇所は、次のうちどれか。

- (1) エンジンオイル
- (2) 燃料フィルター
- (3) インペラ
- (4) 冷却水取入口

問46 前線の記号とその名称を示した次の組合せのうち、正しいものはどれか。

- (1) ..... 寒冷前線
- (2) ..... 停滞前線
- (3) ..... 温暖前線
- (4) ..... 閉塞前線

問47 次のうち、突風が吹く前兆とされていないものはどれか。

- (1) 西の空に積乱雲が現れた場合
- (2) 夜間、西の空に稲光<sup>いなびかり</sup>が見えた場合
- (3) 海上が穏やかなときに西の水平線が凹凸<sup>おうとつ</sup>に見えた場合
- (4) 西の空に日がさ、月がさが見えた場合

問48 潮汐<sup>ちようせき</sup>について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。

- (1) 潮汐とは、気圧の変化により海面が上下する動きをいう。
- (2) 相次ぐ二つの満潮(又は干潮)の時間間隔は一定ではない。
- (3) 通常、満潮と干潮はそれぞれ1日に1回ずつしか起こらない。
- (4) 干満の差は、上弦<sup>じようげん</sup>や下弦<sup>かげん</sup>の月の頃に最も大きくなる。

問49 荒天時の操縦について述べた次の文の( )の中に当てはまる語句として最も適切なものは、下のうちどれか。

「追い波を受けて航走するときは、船体が波に横たわり転覆する危険のあるブローチングを避けるため、波の( )にとどまるように速力を調整する。」

- (1) 頂上
- (2) 上り斜面
- (3) 下り斜面
- (4) 谷間

問50 小型船舶の事故発生時の処置として最も適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 浅瀬に乗り揚げたときは、直ちにエンジンを後進にかけて引き離す。
- (2) 転覆しても沈没するおそれがない場合は、船の近くで救助を待つようにする。
- (3) 他船と衝突したときは、エンジンを止めて船体の損傷状態を第一に確認する。
- (4) 火災が発生したときは、全速力で近くの港に避難する。